

# Tera Probe

株式会社テラプローブ

証券コード:6627

第12期

# 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日

第12期 定時株主総会決議ご通知

特集

## 渡辺社長に聞く

ごあいさつ

連結決算ハイライト

第12期 定時株主総会決議ご通知

株式情報／株主メモ／事業拠点

# TOP INTERVIEW

トップインタビュー



ごあいさつ

代表取締役社長兼CEO

渡辺 雄一郎

みなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの平成29年3月期は、台湾の子会社における受託量が大幅に増えたものの、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡や国内主要顧客の生産ミックス、熊本地震の影響により、売上高は188億12百万円、営業利益は23億34百万円と、前期に比べ減収減益となりました。一方、特別損失を前期に計上していた反動などから親会社株主に帰属する当期純利益は前期から大きく改善し、12億90百万円となりました。

このような状況のもと、当社はテストサービスをより一層充実させるため、今年2月に会津富士通セミコンダクター(株)との合弁会社である、会津富士通セミコンダクタープローブ(株)の全株式を取得し、株式会社テラプローブ会津として完全子会社化しました。また、台湾の子会社では既存フロアに拡張余地がなくなることから、新棟の工事に着手し、来年度の操業を見込んでおります。

さらに、今期は4月14日に公表しましたとおり、親会社となりましたPowertech Technology Inc. (以下、PTI) と連携し、次のステージに進んでまいります。

当社はこれからも変化を恐れず、テストサービス企業として顧客との信頼関係を強化し、企業価値の向上を図ってまいります。株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## テーマ1 PTIによる公開買付およびマイクロンへの事業譲渡

## Q | PTIとはどんな会社ですか？

PTIは、台湾に本社を置く、世界第5位のOSAT（半導体組立検査受託会社）です。DRAMやNAND Flashといったメモリ分野を中心に事業を行っています。当社創業時からの大株主でもあり、当社とは長期に渡り良好な関係が続いております。

## Q | 今回の公開買付け（以下、TOB）および事業譲渡の意義は何ですか？

TOBにより親会社となったPTIグループの顧客基盤が活用できます。また、既存顧客への提供サービスを拡充し、顧客基盤をより強固なものにすることも可能となります。また、事業譲渡により、経営資源をより成長性の高い事業に振り向け、企業価値の向上が図れます。

## テーマ2 今後の成長戦略について

## Q | 今後のテストビジネスの展開は？

国内と台湾の双方で事業の拡大を図ってまいります。国内においては、九州でクリーンルームを拡張し、受託量の増加に備えていきます。また、台湾においても新棟を建設しており、2018年前半からの稼働を目指しております。



建設中の台湾新棟(2017年5月)

## 1

## 株式会社テラプローブ会津発足(平成29年2月1日)

平成28年1月から合併会社として参画していた会津富士通セミコンダクタープローブ(株)の出資比率を100%とし、完全子会社としました。また、社名をテラプローブ会津に変更しました。広島、九州に続く、国内3ヶ所目のテスト拠点として事業の拡大を図ってまいります。



## 2

## 決算期(事業年度の末日)の変更

当社は、親会社であるPowertech Technology Inc.と決算期を統一するため、第12期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたします。これに伴い平成29年12月期は、平成29年4月1日から平成29年12月31日までの9ヶ月間となります。

## 3

## TeraFaces® が週刊『ロビ2』に採用

当社の顔認証ソフトウェア・ライブラリ TeraFaces® およびその他の画像処理技術が、デアゴスティーニ・ジャパンのマガジンシリーズ 週刊『ロビ2』に採用されました。

この機会に顔認証をぜひ体感してみてください。



©DeAgostini



当社提供予定のパーツ

©Tera Probe.

# 連結決算ハイライト

## メモリ事業について

メモリ事業におきましては、新興国向けスマートフォン用製品の需要は堅調に推移いたしました。国内主要顧客製品の生産ミックスの変化が継続したため、売上高・利益ともに減少いたしました。

これらの結果、当期のメモリ事業の売上高は11,398百万円(前期比14.9%減)、セグメント利益は2,678百万円(前期比28.0%減)となりました。

## システムLSI事業について

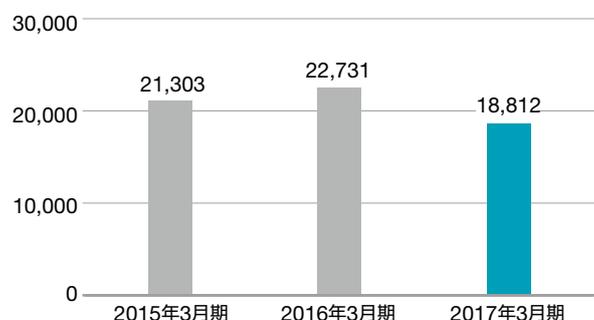
システムLSI事業におきましては、国内・台湾ともに車載用製品を中心にテストの受託量が順調に増加したため、テスト受託による売上高は増加いたしました。しかしながらウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡の影響により、売上高は減少しました。

これらの結果、当期のシステムLSI事業の売上高は7,179百万円(前期比21.8%減)、セグメント利益は855百万円(前期比99.7%増)となりました。

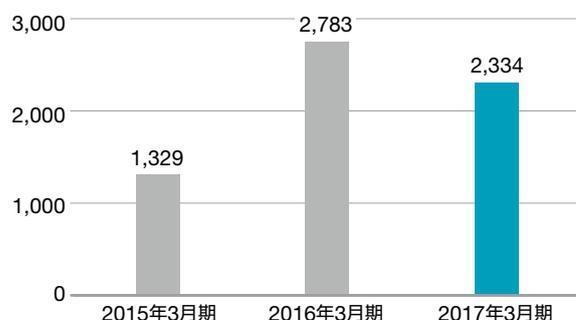
## 連結財務諸表(要旨)

(単位：百万円)

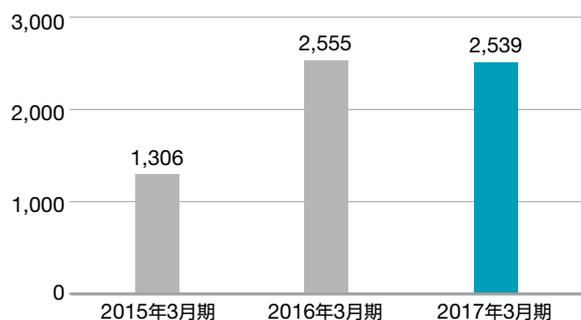
### 売上高



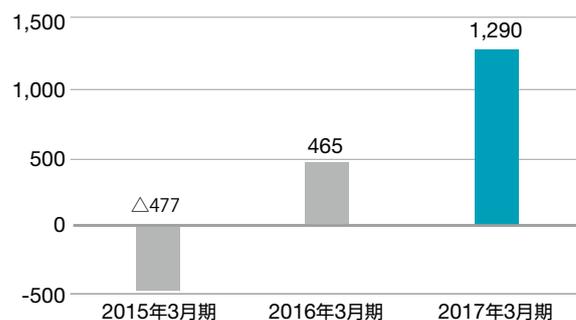
### 営業利益



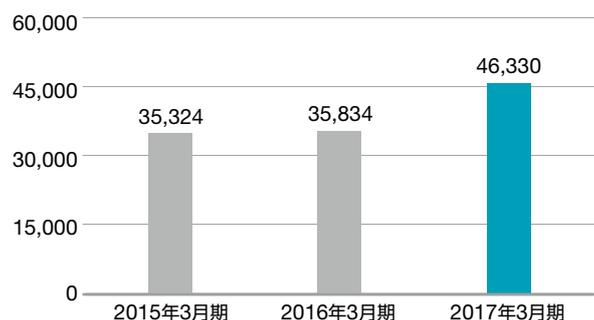
### 経常利益



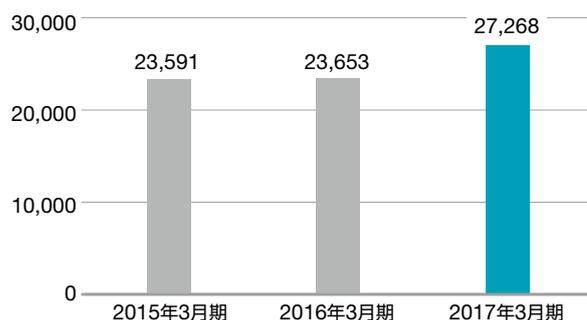
### 親会社株主に帰属する当期純損益



### 総資産



### 純資産



詳細な情報は [こちら](#)

[テラプローブ](#) [IR資料](#)

[検索](#)



## 第12期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されました

1. 開催日時 平成29年6月29日（木曜日）午前10時  
 2. 開催場所 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目6番15号 新横浜グレイスホテル 4階 シャーロット  
 3. 内容  
 報告事項  
 1. 第12期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
 2. 第12期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）計算書類報告の件  
 決議事項  
 第1号議案 定款一部変更の件  
 第2号議案 取締役5名選任の件  
 第3号議案 補欠監査役1名選任の件



### 株式情報

2017年3月31日現在

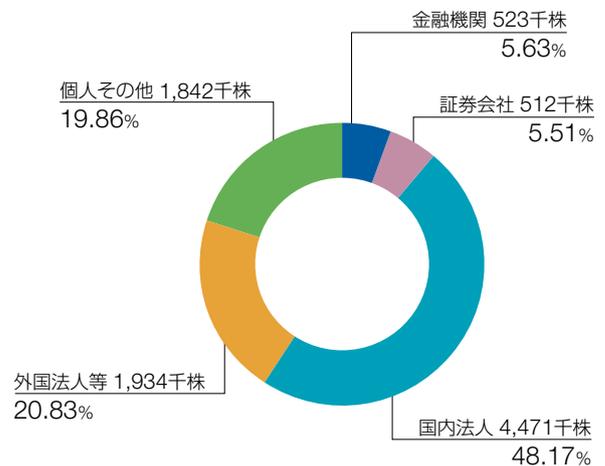
発行可能株式総数 30,000,000 株  
 発行済株式総数 9,282,500 株  
 株主数 2,574 名

#### 大株主

株主名	持株数	(%)
マイクロンメモリ ジャパン株式会社	3,680,000	39.64
POWERTECH TECHNOLOGY INC.	1,077,100	11.60
株式会社アドバンテスト	760,000	8.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	285,200	3.07
株式会社SBI証券	206,700	2.22
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	146,700	1.58
神林 忠弘	120,100	1.29
時津 昭彦	117,400	1.26
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	115,700	1.24
家島 秀樹	80,000	0.86

(注) 1. 持株比率は自己株式(145株)を控除して計算しております。  
 2. 持株比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。

#### 所有者別分布状況



### 株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 マザーズ  
 事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで  
 株式の売買単位 100株  
 公告方法 公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
 公告掲載URL <http://www.teraprobe.com/>  
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063  
 郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先 ☎0120-782-031  
 ホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/>



### 事業拠点

2017年4月1日現在



### 株式会社テラプローブ

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-17  
 TEL:045-476-5711  
 ホームページURL <http://www.teraprobe.com/>



本誌は、FSC®認証紙と、植物性インキを使用しています。